

小青竜湯エキス

基原の項を次のように改める。

本品は定量するとき、製法の項に規定した分量で製したエキス当たり、総アルカロイド〔エフェドリン($C_{10}H_{15}NO$: 165.23)及びブソイドエフェドリン($C_{10}H_{15}NO$: 165.23)] 10 ~ 30 mg、ペオニフロリン($C_{23}H_{28}O_{11}$: 480.46) 26 ~ 78 mg 及びグリチルリチン酸($C_{42}H_{62}O_{16}$: 822.93) 17 ~ 51 mg を含む。

試薬・試液の追加を次のように改める。

アサリニン, 薄層クロマトグラフィー用 $C_{20}H_{18}O_6$ 白色の結晶又は結晶性の粉末である。メタノール又はエタノール(99.5)に溶けにくく、水にほとんど溶けない。融点: 118 ~ 122

確認試験 本品のメタノール溶液(3 200000)につき、紫外可視吸光度測定法 2.24 により吸収スペクトルを測定するとき、波長 234 ~ 238 nm 及び 285 ~ 289 nm に吸収の極大を示す。

純度試験 類縁物質 本品 1 mg をメタノール 1 mL に溶かした液 1 μ L につき、「小青竜湯エキス」の確認試験(7)を準用し、試験を行うとき、 R_f 値約 0.4 の主スポット以外のスポットを認めない。